

ディスプレイ憲章

ディスプレイは
主題を空間に演出する伝達技術である
われわれは
企業間の相互理解に立ち
業界全体の繁栄をはかると共に
創造に徹し
技術を磨き
ディスプレイを通じて
社会に貢献する

CONTENTS

ディスプレイの眼 東デ協女子会 『ディスプレイ業界の パーフェクト・ウーマン』!?	・ ・ 1
東デ協女子会 ～ディスプレイ業界で 活躍する女性たち at GINZA	・ ・ 2
東京デザイン巡り 隅田川の橋	・ ・ 10
next HERO わが社の新人紹介	・ ・ 12
表紙デザインコンテスト結果発表	・ ・ 14
編集後記	・ ・ 14

ディスプレイの眼

東デ協女子会 『ディスプレイ業界の パーフェクト・ウーマン』!?

この随分とキラキラしたタイトルは、今号特集のディスプレイ業界で働く女性座談会タイトル案の一つです。私はお気に入りなので、ここで使用させていただきました。

ディスプレイ業という場に身を置いて四年。空間とデザインを学び、多くの諸先輩方の背中を追いかけて今日までやってきました。少ない経験の中でも強く感じるのは、『ディスプレイ業界は人が支えている』ということです。たくさんの人との協力無くしては成り立たない私たちの仕事。特に胸を撃たれたのは、大変な現場においても笑顔あふれる女性たちでした。このパワーを、もっともっと皆さんに知っていただきたいと考えるようになりました。

そんな中、この座談会を企画させていただくチャンスをいただき、本誌掲載となりました。座談会の参加者は、どなたも仕事と人生に、正面から向き合っている方々。働く会社、職種も違うけれど、それぞれ職種変換・転職・結婚・出産・未来像について、座談会でひとつでも多く学ぼうとしている姿には勇気をいただきました。詳細は、このあとの特集記事をご覧ください。

では、素晴らしい女性たちの活躍がディスプレイ業界で継続しにくい理由はどこにあるのでしょうか。業界の中には、わからないこともあります。私は、広く深い経験を持つ方にお話を聞くべく、女性起業家、セミナー講師、ビジネス本の著者、ノマドワーカーの方々へアプローチしました。皆さんが仕事を継続できる理由は『チャンスを掴む決断ができる』ことだそうです。(当時は夢中になっていたから、それしか選択肢がなかったとも謙遜して述べられていましたが・・・)

結婚や出産、離婚や病気など、人生の節目に一つ一つ、逃げずに向き合ってきた。そして、彼女たちはいつでも周囲への感謝を忘れず、心配りを大切に出来たことにより、チャンスを掴む能力を育てました。結果として周囲に選ばれ、仕事を続けてこられたのでしょうか。

東デ協の活動を通じ、ディスプレイ業界のパーフェクトウーマンを目指すために役立つ情報や場を広げてゆきたいと考えています。

広報委員 古長谷 莉花/榎乃村工藝社